

今月の表紙

草場 一壽さんの陶彩画

ロータス
「 Lotus 」



草場さんの工房での制作風景

この作品に添えられた、
草場さんご本人による詩をご紹介します。

清浄なるかな。七色の光をまとい。

永遠なるかな。いのちの調べは。

その果実、ひとつ口にすれば
忘我の境地に至るといふ。

編集前記

「子どもに”生きる力”を」

今月号では、武雄市子育て総合支援センターの新センター長に就任された吉牟田美代子さんにインタビューさせていただきました(4〜5ページの記事)。

吉牟田さんは、乳幼児から大学生まで幅広い保育・教育の現場経験をお持ちということで、非常に興味深く魅力的なお話をうかがうことができました。その中で、特に印象的だったのが、「これからの時代の保育・教育者は企画力が必要」というお話でした。

現在の日本は、社会の変化や国際化の進展などによって、従来の考え方が各方面で通じなくなってきているようです。

子育てや教育も同様。主体的に物事を考えて行動できる自立した個人を育てるには、育て教える側がこれまでの発想を見直す必要があるでしょう。個々の子どもにしっかりと向き合い、アドリブでオーダーメイドの子育てや教育ができる柔軟性やサービス精神。それを可能にするのは、確かに優れた企画力だと言えるでしょう。

おりしも、武雄市ICT教育推進協議会が樋渡市長に対し、「小中学校全学年の全児童生徒全員にタブレットPCを配布することが望ましい」と答申し、全国的な話題となりました。

武雄市が取り組む先進的な取り組みが、この国の子育てや教育にどのような二石を投じることになるのか。そのチャレンジにご期待いただくとともに、みなさんが子ども達の未来についていま一度考えるきっかけになればと願う次第です。